神戸新聞 2016年04月26日 火曜日 面名 朝一 １４ 1ページ

東京五輪の顔「市松模様」

2020年東京五輪公式エンブレム（左）とパラリンピックのエンブレム

エンブレム、日本らしさ評価

2020年東京五輪・パラリンピック組織委員会は25日、新しい大会公式エンブレムとして、江戸時代に広まったチェック柄の「市松模様」と伝統色の藍色で粋な日本らしさを描いた作品A「組市松紋」を発表した。作者は東京都在住のアーティスト、野老朝雄さん(46)。組織委は昨年7月に一度、エンブレムを発表したが、盗用疑惑が拡大し白紙撤回。異例の選び直しを経て、大会のシンボルマークがようやく決まった。(4面に「人」、4、21、27面に関連記事)

最終候補4作品の中から、この日のエンブレム委員会で21人の委員が投票して選考。1回目で作品Aが過半数の13票を獲得した。宮田亮平委員長（文化庁長官）は「市松模様は世界中で愛されており、日本人らしさを秘めている」と述べた。輪をデザインした作品Bが1票、「風神雷神」がモチーフの作品Cが2票、朝顔をイメージした作品Dは5票だった。

佐野研二郎氏作成の旧エンブレムの選考が閉鎖的だったと批判された反省から、応募資格を大幅に緩和、公募で1万4599作品が集まった。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名 前【　　】

① 今回2020年東京五輪・パラリンピックの公式エンブレムとして決まった作品Aは、どのような作品ですか？（　　）に適切な言葉を入れなさい。

（　　）時代に広まった（　　）の
（「　　」）と伝統色の（　　）で粋な
（　　）を描いた作品。

② エンブレム委員会で、1回目の投票で21人の委員のうち、作品Aは、何票獲得しましたか？

〔　　票〕

③ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

学びポイント

・ 4面「人」欄に、このエンブレムを作成した野老（ところ）朝雄（あさお）さんの記事が掲載されています。その記事も読んで、この人のライフワークが何かを調べてみましょう。

NIEワークシート／小学高学年～高校／国語、総合、朝NIE